

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 確認テストを解き直す	
② 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
③ 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

担当より一言

今回は二酸化炭素について学びました。

塩酸を石灰石に加えると二酸化炭素と塩化カルシウムと水が発生します。塩酸と石灰石で二酸化炭素が発生することはとても重要です。確実に覚えましょう。塩化カルシウムは4年生のうちには覚えられたらで大丈夫です。

また石灰石の主成分は炭酸カルシウムです。貝殻や卵の殻にも炭酸カルシウムが含まれていますので、石灰石の代わりになることも整理しておきましょう。

二酸化炭素の性質について、水に少し溶ける、空気より重い約1.5倍、石灰水を白くにごらせる、この3つは最低限覚えましょう。

酸素の回でも学んだ水上置換法、上方置換法、下方置換法を集めたい気体によって使い分けることが重要です。これも暗記ではなく、気体の性質からどの方法を使うか見極められるようにしましょう。

基本的に気体を集めるときは水上置換法が一番よい方法です。理由は2つあり、純粋な気体を集められるから、そしてどのくらい気体が集まったか目で見て分かるからです。水上置換法を使えない気体は、水によく溶けてしまう気体です。あとは、空気よりも重ければ下方置換法、軽ければ上方置換法を使うと順序立てて整理しておきましょう。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 確認テストの見直し（間違えた問題の見直し）	
② 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
③ 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

<p>今回は、「気候」について学びました。</p> <p>これまで何度も出てきた気候グラフ(雨温図)ですが、初めてまとまって出てきました。この気候グラフの読み取りは入試でも必須です。読み取りにはある程度の慣れも必要なので、できるだけ多くの問題にふれ、自信をもって読み取れるようにしていきましょう。</p> <p>気候グラフのポイントは、次の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 6つの気候区を覚えること 2. 6つの気候グラフの見分け方を覚えること 3. なぜグラフに違いが出るのか、その背景を説明できること <p>まず1・2を確実にしましょう。そのうえで、問題などでは3が大切になります。テキストにある「気候に影響を与えるもの」が、おもな背景となるので、気候グラフを読み取る時に、一緒に思い起こすようにしましょう。また、テキストの最後に出てきた自然災害も、各地の気候を理解していなければ、わからないものです。これまでの「紹介シリーズ」や「都道府県シリーズ」で学んだことも思い出しながら、日本各地の気候の理解を深めていきましょう。</p> <p>次回は気候グラフを中心とした気候の演習回となります。これに備え、基本メニューを確実に行ってください。6つの気候グラフを見分けられるようにして、授業に臨んでほしいと思います。</p>
